2023年度　インドネシア日本語教育ボランティア

■研修期間　2024年2月 10 日(土)～3月7日(木)　27 日間

■派遣学生数　2名

■研修費用　約 350,000 円

■単位認定　3単位

■研修日程

		内容	滞在先
1	2/10(日)	福岡空港→仁川空港→ジャカルタ空港	ジャカルタホテル泊
2	11(月)	ジャカルタ空港→スマラン空港 受入団体施設へチェックイン	ボランティア団体施設泊
3	12(火)	オリエンテーション 活動先案内	ホームステイ
4-26	13(水)～3/5(月)	現地学校での日本語教育ボランティア ～活動内容～ ・日本語の授業でアシスタント教師としての活動 ・その他の授業のお手伝い ・日本文化の紹介 ・放課後や自由時間における生徒/日本語教師との交流	
4-26 休日	13(水)～3/5(月)	自由時間	
26-27	6(火)～7(水)	活動レポート提出、修了書受領 スマラン空港→ジャカルタ空港→仁川空港 →福岡空港	機内泊

プログラム参加レポート

プログラム名	2023年度 インドネシア日本語教育ボランティア

1	どのようなことを活動しましたか。 日本語教育ボランティアとして１ヶ月滞在しました。 ・1 週間目は、学校で日本語での自己紹介や教科書の補助、発音の練習などの授業にアシスタント教師として参加しました。ひらがなとカタカナを教える機会がありました。 ・2 週間目は、学校のセレブレイトでしたので、先生たちと一緒に日本の歌とインドネシアの歌を歌ったり、バリ島のダンスを披露したり、インドネシアの文化に触れることが出来ました。 ・3 週間目は、試験の前で授業らしいことは出来なかったので、日本語教師会で知り合った先生の学校に行くことになり、そこでは折り紙や書道、着物の着付けを行いました。
2	活動を通して何を学びましたか。 ・伝えたい気持ちがあれば伝わること、どの国にいても人は優しいということを体感することが出来ました。当初は、言語によるコミュニケーションに対して不安を持っていましたが、実際行くとボディーランゲージなど言語を必要としなくてもちゃんとコミュニケーションをとれ、現地の人と親しくなれました。 ・上記の事が自分の中で自信に変わり、外国から来た人と に対して話しかけられたらどうしようという気持ちはなくなり、むしろたくさんコミュニケーションを取りたいと思えるようになりました。 ・異文化を知ることで自分の価値観が変わり、許容範囲が広がって行きました。
3	活動を通して困難だったことは何ですか。 ・日本語を教えるにあたってどのような工夫をすれば生徒の記憶に残るかを考えるのが難しかったです。